

忠生中学校だより

げんとう かぜ 原頭の風

—2026年度 第6号—



2026年10月8日発行

子どもの数は命の数

～生徒が主役で、笑顔いっぱい光り輝く学校～

町田市立忠生中学校



校長 高橋 博幸

Tel 042 (791) 0821

E-mail j-tadao@gs.machida-tyky.ed.jp



失敗を恐れず、全力で挑む一日へ！

校長 高橋 博幸

2学期が始まって早くも1ヶ月が経ちました。今年の夏から秋にかけては全国的に雨の日が多く、各地で自然災害が発生しました。先月も相次いで台風が接近・通過し、幸いにも本校周辺では大きな被害はありませんでしたが町田市内でも避難勧告が出される地域があり、あらためて防災への意識を高める契機となりました。このように日々の学校生活を滞りなく送れることは、決して当たり前のことではありません。地域の皆様や保護者の皆様のご協力、そして日頃の備えがあってこそ得られる貴重な時間だと実感しております。

さて、今月号は10月5日の全校朝礼で生徒たちへ伝えた講話内容をご紹介します。

いよいよ来週の土曜日、17日が体育大会の本番です。どうか当日は、素晴らしい秋晴れに恵まれることを願っています。校長室で仕事をしていると、グラウンドから演技の音楽や、先生方の熱心な指導の声が聞こえてきて、私自身もだんだんとワクワクした気持ちになってきます。実行委員や団旗担当、そして各委員会の皆さん。係の準備もあり、この時期は本当に忙しく過ごしていることと思います。また、体育大会のもう一つの楽しみといえば、他学年の団の応援や、先輩・後輩が一体となって盛り上がることです。

さて、ここで一つ問いかけたいことがあります「体育大会を心から楽しむためには、どうすればよいのでしょうか」。中には、「たった一日の本番のために、どうしてこんなに練習ばかりしなければならないんだろう」「運動が少し苦手だな」と思っている人もいるかもしれません。ですが、忠生中の皆さんが日々の練習に一生懸命取り組んでいる姿を見てみると、校長として本当に嬉しく、誇らしく思います。

体育大会は団で競い合うものですから、どうしても勝ち負けがついてしまいます。しかし、勝敗以上に大切なこと。それは、「結果はどうであれ、一人ひとりが全力を尽くしたと言えるかどうか」です。競技は、どんなに練習を重ねても、本番は一回だけです。そのたった一回のために、みんなで汗を流して準備をしているのです。

当日は、どんなに一生懸命練習していても、転んでしまったり、思いがけない失敗をしてしまったりすることがあるかもしれません。ですが、大切なのは「その後」です。転んでもすぐに起き上がって走り出せるか、失敗しても最後までやり抜くことができるか。その姿こそが、見ている人の心を打ちます。一生懸命に練習してきた人は、人の痛さや頑張りが痛いほどよく分かります。だからこそ、たとえ失敗した仲間がいても、その懸命な姿に対して、温かい大きな拍手を送ることができるのです。

では、反対にどうでしょう。「練習の時くらい、自分一人くらい手を抜いても大丈夫」「本番だけちゃんとやればいいや」と、練習を適当に済ませてしまったらどうなるのでしょうか。たとえ当日たまたま良い結果が出たとしても、心の底からの喜びや達成感は、半分になってしまうのではないのでしょうか。

今お話したように考えると、体育大会は、すでに始まっています。赤も、白も、緑も、黄色も、青も、忠生中の全員がそれぞれの色で力を合わせれば、どの団にとっても「大成功だった」と胸を張れる、最高の体育大会になるはず。全校の皆さんがそんな素晴らしい気持ちで本番を迎えられたら、この体育大会は大成功間違いなしです。みんなで力を合わせ、最高の体育大会にしましょう。とても楽しみにしています。

自然の恵みと日々の平穏に感謝の気持ちを持ちながら生徒たちが互いに支え合い、体育大会に全力で取り組んで成長できるよう、教職員一丸となって支援してまいります。保護者・地域の皆様におかれましても、引き続き温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎ バトンは3年生から1・2年生へ～生徒会役員選挙・立会演説会～

9月3日（木）から10日（木）にかけて、立候補者による選挙運動が行われました。そして、9月10日（木）には全校生徒がアリーナに集まり、生徒会役員選挙の立会演説会が実施されました。生徒会長や副会長をはじめとする立候補者の演説からは、「より良い忠生中学校をつくり上げていこう」という強い意気込みがひしひしと伝わってきました。壇上に立った立候補者や応援者の堂々とした態度は大変立派であり、それを聴く生徒の皆さんの姿勢も真剣そのもので、非常に素晴らしい立会演説会となりました。これからは、1・2年生が3年生から学校の中心としての役割を引き継いでいきます。生徒の皆さんが一人ひとりの力を合わせ、生徒が主役となって笑顔があふれ、光り輝く忠生中学校をつくっていってくれることを心から期待しています。



◎ ブリティッシュヒルズ移動教室を終えて 【9月24日（木）～26日（土）】

出発前は英語でのコミュニケーションに不安を抱えていた生徒たちでしたが、現地でのリアルな英語対応を通じて、自ら話すことに挑戦する姿が日に日に増えていきました。1日目よりも2日目、最終日と回を重ねるごとに講師とのコミュニケーションが増え、自分の想いを英語で伝えられる喜びを実感して、英語学習への強いモチベーションと自信を育むことができました。

また、今回の行事では規律をしっかりと守り、不要物の持ち込み違反 ZERO を見事に達成することができました。「次にどこへ行き何をすべきか」を一人一人が常に考え、周囲と互いに声を掛け合いながら自主的かつ主体的に行動できた成果だと思います。集団として高い規範意識を持ち、互いに学び合い、認め合い、そして高め合いながら過ごせたことは今回の宿泊行事における非常に大きな価値となりました。

最後に、初めての宿泊行事を無事終えられたのは生徒全員の積極性と集団力の賜物です。今回のブリティッシュヒルズ移動教室で身に付けた自主性や協力する心、そして英語への関心を、今後の日々の授業や学校生活へ存分に生かしていきましょう。一歩大きく成長した皆さんなら、来年度に控える修学旅行をさらに素晴らしい行事にしてくれることでしょう。今後も期待しています。

【文責：第2学年 ブリティッシュヒルズ移動教室担当 蒔 悠太】



◎ 小中連携連絡会 ～忠生中、忠生小、山崎小、図師小の先生方の交流～

9月30日（水）の午後、図師小学校を会場に「小中連携連絡会」が開催されました。忠生中学校・忠生小学校・山崎小学校・図師小学校の教員が一堂に会し、授業参観を行いました。

参観後は、教科や領域ごとの10の分科会に分かれて活発な情報交換を行いました。この取り組みは、小中学校における指導の連続性や整合性を保ち、より効果的・効率的な継続指導を行うことを目的としています。また、地域の情報や課題を共有し、子どもたちの学力向上と健全育成につなげていく重要な機会となっています。

協議会全体を通して、小中の教員同士が直接交流を深めることができ、互いの信頼関係をより一層強める有意義な連絡会となりました。



◎ 未来の教育者を目指して ～教育実習が始まりました～

10月2日（金）から23日（金）までの3週間、本校に3名の教育実習生が着任しました。音楽科のR・S先生（玉川大）、保健体育科のK・O先生（日本体育大）とR・F先生（桜美林大）です。実習生は、授業はもちろん朝夕の学活や給食指導、部活動、そして17日（土）の体育大会など、生徒とともに情熱をもって学校生活を過ごしています。年齢の近い実習生との交流は、生徒にとっても新鮮で良い刺激となっています。

実習生には「忠生中生とともに学び、成長する充実した3週間」となることを期待しています。保護者・地域の皆様も温かく見守っていただけますようお願いいたします。

R・S先生【音楽科】



はじめまして！玉川大学から参りました。今回の実習では2年生の音楽を担当させていただきます。中学校、高校ではテニス部に所属していました。練習試合の際に、忠生中学校には何度か訪れたことがあります！吹奏楽は未経験ですが、歌うことがとにかく大好きです！運動も音楽も大好きなので、みんなと一緒に音楽の授業や体育大会の練習をする日を楽しみにしています！3週間よろしくお願いいたします。

K・O先生【保健体育科】



忠生中のみなさん、はじめまして！日本体大学4年K・Oです。今回の実習では3年生の保健体育科と、2年6組の学級を担当させていただきます。食べることで運動することが大好きなので、給食や授業の時間がとても楽しみです。3週間という短い期間ではありますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

R・F先生【保健体育科】



はじめまして。桜美林大学から参りました。担当教科は保健体育で主に1年生の体育を担当します。中学校時代は陸上競技部に、高校時代は地域の陸上競技クラブチームに所属していました。大学ではスポーツ科学について学び、誰もが運動やスポーツの楽しさを知ってもらえるような教師を目指しています。3週間という短い期間ではありますが、よろしくお願いします。

◎ 第36回忠生市民センターまつり ～合唱部・9組が大活躍～

10月4日（日）、忠生市民センターにおいて「第36回忠生市民センターまつり」が開催され、本校の合唱部と9組の生徒たちが出演しました。

合唱部の皆さんは温かく表現豊かな歌声を披露しました。「海に見える街」、「空」、「未来へ届け」、「合唱 もう一つの」、「涙の乾く処方箋」のそれぞれの曲の世界観を大切にし、情景や気持ちを情感豊かに歌い上げる姿からは、合唱部らしい一体感と工夫が感じられ、会場を優しい雰囲気に取り囲みました。

また、9組の皆さんは和太鼓「ぶち合わせ太鼓」の演奏を披露しました。地域の皆様や保護者の方々が見守る中、生徒たちは緊張しながらもこれまでの練習の成果を存分に発揮し、力強く堂々とした演奏を届けてくれました。忠生中の伝統として受け継がれてきた迫力ある太鼓の音が会場全体に響き渡り、多くの方々に深い感動を与えました。

地域の一員として、温かいご声援を送ってくださった地域の皆様、そして応援にお越しいただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。今後とも忠生中学校への温かいご支援をよろしくお願いいたします。



合唱部

H. K (2-3)
E. G (2-4)
K. N (2-4)
Y. Y (2-5)
K. Y (1-5)
Y. F (1-9)

9組

N. A (3年) ・ K. I (3年) ・ N. K (3年)
R. S (3年) ・ N. T (3年) ・ R. Y (3年)
A. A (2年) ・ M. W (2年) ・ Y. Y (2年)
M. H (2年) ・ H. N (2年)
S. I (1年) ・ Y. F (1年) ・ H. Y (1年)
Y. Y (1年)

◎ 登下校時におけるスマートフォンの安全な使用とマナーについてのお願い

このたび、地域の方から、登下校中の生徒のスマートフォンの使用について、安全面やマナーを心配する声が寄せられました。具体的には、歩きながらスマートフォンを操作している姿や、路上に座り込んでスマートフォンを操作している姿が見られるとのこと。本校の通学区域には交通量の多い道路もあり、周囲への注意が十分に向かない状態でのスマートフォンの使用は、交通事故等につながる大変危険な行為です。また、公共の場所での使用については、周囲の方への配慮も必要です。学校では、生徒自身が安全を意識して行動できるよう、改めて登下校時の安全や公共の場でのマナーについて指導してまいります。

保護者会においても校長から「学校ではスマートフォンの使用については推奨していない」と冒頭のあいさつで述べています。スマートフォンの使用については保護者の責任のもと管理を行っていただくようお願いいたします。また、本校へのスマートフォンの持込みについても、保護者の責任のもとで申請していただき、学校が許可しているものです。そのため、学校での指導だけでなく、スマートフォンを持たせている御家庭においても、安全な使用方法や公共の場でのマナーについて、改めてお子様と確認していただくことが大切であると考えております。特に、登下校中は歩きながらスマートフォンを操作しないこと、道路や歩道などに座り込んで使用しないこと、周囲の安全や他の方の通行に十分配慮することについて、各御家庭でも御指導くださいますようお願いいたします。「子どもの数は命の数」です。生徒一人一人の安全を守るためには、学校と家庭が共通の認識をもって指導していくことが必要です。御理解と御協力をお願いいたします。

◎ 部活動 ～忠生中生、活躍してます～ (敬称略)

☆剣道部

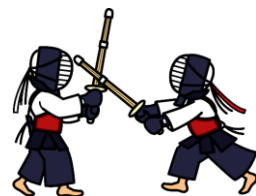
町田市秋季剣道大会 男子団体 第3位

S. N (2-1) ・ T. A (2-6) ・ Y. A (2-3)
I. K (1-4) ・ T. F (1-1) ・ S. A (1-5)

町田市秋季剣道大会 女子団体 第3位

S. I (2-1) ・ H. N (2-1) ・ H. N (2-6) ・ N. H (2-9)

町田市秋季剣道大会 女子個人 第3位 H. I (2-6)



☆陸上競技部

第79回 はちおうじT&Fトライアル 女子中学2年4×100mR 第4位

Y. Y (2-5) ・ N. H (2-3)
H. Y (2-5) ・ H. T (2-5)



☆バドミントン部

東京都中学校第7ブロック町田市バドミントン新人大会 女子団体 第3位

Y. Y (2-1) ・ R. F (2-2) ・ K. K (2-3) ・ R. Y (2-3)
K. M (2-5) ・ S. M (2-5) ・ R. Y (2-6) ・ Y. S (1-1)

☆ソフトテニス部

町田市中学校ソフトテニス夏季研修大会 第3位

R. K (2-1) ・ K. O (2-4)

